

論文内容要旨

論文題目

An Examination of the Applicability of the Bilingual Asymmetry Model
to Japanese: Insight into Kanji-to-English and Kana-to-English Translation
(バイリンガル非対称モデルの日本語への適用)

所属部門：臨床的機能再生 部門

所属講座：高次脳機能障害学 講座

氏 名： 蔡 少 玲

【内容要旨】(1,200 字以内)

第 2 言語の獲得において、第一言語(L1)から第二言語(L2)への翻訳（すなわちフォワード翻訳）と L2 から L1 への翻訳（すなわちバックワード翻訳）は質的に異なるとする“バイリンガルの非対称モデル”が提唱されている（Kroll and Stewart, 1994）。すなわち、バックワード翻訳は主に語彙的(lexical)に、フォワード翻訳は主に意味的(conceptual)に仲介されると言われる。このモデルによれば、バックワード翻訳は意味を介さずに行われるため、フォワード翻訳や、L1 と L2 での呼称より速いと予測される。これまで欧米言語を中心にこの説の検討が行われてきており、言語体系の異なる欧米言語と日本語とのバイリンガルにおいてこの説があてはまるかどうかは明らかでない。

〔目的〕 日本語と英語のバイリンガルにおいて、非対称モデルがあてはまるかを検討することを目的とする。さらに、フォワード翻訳において、漢字単語と仮名单語で差があるかどうかとも検討する。

〔方法〕 被験者は日本語を母語とする英語学習者 23 名（上級レベル 15 名と初級レベル 8 名）である。刺激は 20 個の動物または日用物品をあらわす単語（漢字、仮名、英語）および線画である。これらの刺激を用いて、以下の 5 つのタスクを施行した：①日本語での呼

称、②英語での呼称、③英単語の和訳、④漢字単語の英訳、⑤仮名单語の英訳。刺激はラップトップコンピューター上に提示し、被験者の口頭反応をコンピューターに記録して反応時間を算出した。初級レベルの被験者には同じ実験を同日中に繰り返して行った。

〔結果〕上級レベル、初級レベル両群において、バックワード翻訳は仮名单語のフォワード翻訳よりは有意に速かったものの、漢字単語のフォワード翻訳の反応時間とは有意差が見られなかった。また、仮名单語のフォワード翻訳は漢字単語のフォワード翻訳より有意に速かった。初級レベル群において、2回目の反応時間は1回目より有意に短く、特に漢字単語のバックワード翻訳で反応時間が短縮していた。

〔考察〕日本語・英語バイリンガルにおいては、非対称モデルは部分的にしかあてはまらないことが示唆された。その理由として日本語においては漢字単語と仮名单語で意味理解にいたる経路が異なり、漢字単語は欧米言語の単語処理と一部異なる処理過程を含むためと考えられた。繰り返しにより漢字単語のフォワード翻訳の反応時間が特に短縮したことから、翻訳に関わる処理過程は学習によりダイナミックに変化することが推測された。

平成 20 年 / 月 9 日

山形大学大学院医学系研究科長 殿

学 位 論 文 審 査 結 果 報 告 書

申請者氏名：蔡 少玲

論文題目：An examination of the applicability of the bilingual asymmetry model to Japanese: Insight into Kanji-to-English and Kana-to-English translation

審査委員：主審査委員

鈴木 匡子

副審査委員

後藤 薫

副審査委員

11) 勝 忍



審査終了日：平成 20 年 / 月 8 日

【 論 文 審 査 結 果 要 旨 】

全体としては博士論文として認められる内容であると考えるが、下記の点につき修正を必要とする。

1. proficient group に関して、英語圏に住んだ経験があるか、その時期などの記載をする。
2. 実験方法の実際が分かりにくいので、図で示す。
3. (発表に使った) 結果を示すグラフに error bar をつける。また、何と何を比較したかよく分かるように工夫する。
4. less proficient group で 2 回目に反応時間が短縮したことは、違うルートを通ったためとは必ずしも言えない。同じルートでスピードが増した可能性もあり、いくつかの可能性のあることを明記する。
5. 繰り返しによる学習効果が less proficient group に特徴的かどうかは分からないので、その点を明記する。
6. 年齢と反応時間の関係について、proficient group 内で年齢と反応時間の相関があるかどうか検討する。

(1, 200 字以内)